

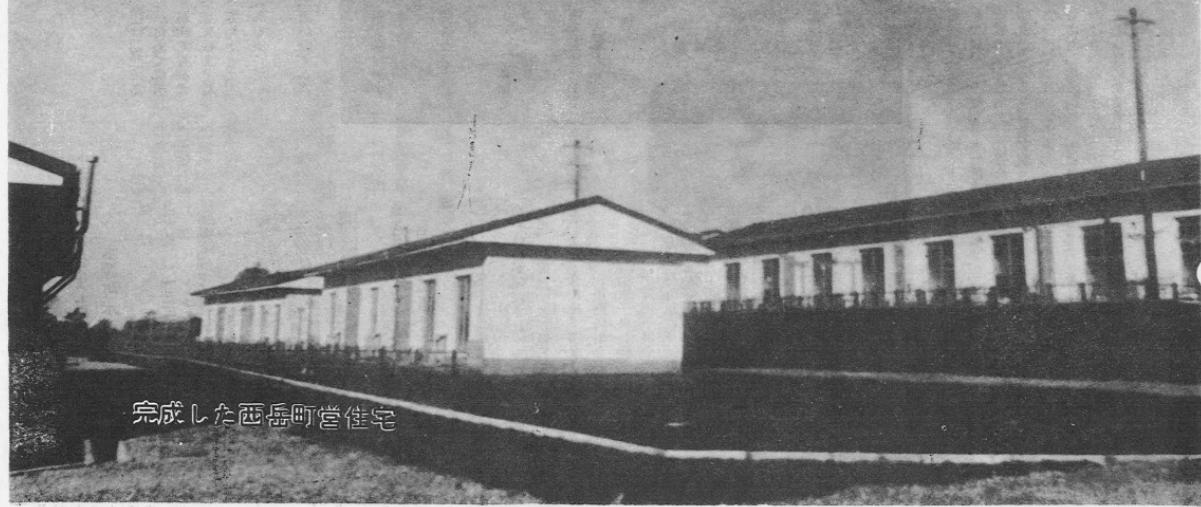
広報

おなづまち

1972-2

人口の動き

出生	21
死亡	18
自然増減	31
新規世帯数	69
新規世帯数	4,527
新規世帯数	19,179
新規世帯数	9,084
新規世帯数	10,095



完成した西岳町営住宅

国語辞典によれば「道」は「路」であり、「路」は「露」であるという。すなわち、人やけものが踏みかためて草が枯れ、土が露に出たところが道路というわけである。ともかくも、踏みわけることから始まつたみちは、人とのものを運び活気にあふれる町をつくってきた。そして、人はまた町と町を結ぶ新しいみちを築いていく。

そこには、新しい文化が興り、豊かな生活が始まる。



水源町ボーリング
深 度 一五〇メートル
揚水量 一一五二四(一 日)

水源町ボーリング

846

水

露

出

さ

る

と

い

う

よ

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

消防出初式

少年消防隊も特別参加

一月七日午前九時ら恒例の大津町消
防団初式が、大津ト学交々庭で進行さ

大津町消防団長表彰

49

寒い季節は
白晝」によ

は火災の季
ると、年

節もある一消防間の出火件数損害

寒い季節は火災の季節でもある「消防白書」によると、年間の出火件数損害額、死傷者数は年々前年を上回り火災

第一回	第一回	第一回	第一回
田中利秋	古庄茂	藤本博誠	藤本博誠
平野勇二	上田美智秋	今村幸充	今村幸充
第三分団	藤森 緯	齊藤博幸	齊藤博幸
坂本晋一	中尾政広	西本哲治	西本哲治
樋口次雄	岡田一	木田昭教	木田昭教
	大木黑鉄	大木黒鉄	大木黒鉄

熊本県消防協会会長表彰	
功勞章	
第三回長 岡田国光	
第三回長 福本政義	
第八回団長 本田芳夫	
第八回団長 本田芳夫	(二十年以上)
上野繩介	
西本進	
木下繁義	
福本政義	
池田誠也	
田中政義	
澤山昌雄	
渡辺隆雄	
岩下勝	
坂本辰馬	
岡島和弘	
矢野桂吾	
第五分団	
岩本勝	
石原富美男	
第六分団	
高浜富美男	
中野茂男	
第七分団	
三池宣生	
芦川孝徳	
大村純雄	
第七回団	
金田盛一	
永田一男	
吉良利則	

勵續章動統草十五年以上	第八分團	津田桂伸
第一分團	松岡勝治	田代國廣
樋原誠一	合志義一	石原繁昭
桐原茂二	那	岩下房敏
佐藤堅一	今村一也	
曾我精一		
本		
部		

中村良一	第二分團	第十二分團
第四分團		
菊池宣憲	中尾昭一	東京學生
源川和美	米田孝一	東京學生
第三分團	西本進	自治功劳
名古屋四日市	福本政義	東京學生
名古屋二	久松政二	東京學生

第五分團	石原雄	大塚精雄	糸永憲祐
第六分團	齊藤強	古庄誠一	渡辺四郎
第五分團	齊藤直	今村万吉	田中政義
第五分團	齊藤直	木村潛	柏木隆蔵
第五分團	齊藤直	人命改善委員会	矢野正

熊本県済生会菊池支部長表彰	第七分団 第八分団 合志一也	田上郁雄 合志満夫
第一位 第一分団 第二位 第二分団 第七分団	第一分団 出初式優良分団	大林 班 坂田 猛

優良分團	第三位
第一分團	分團長上田辰也外一〇名
優良團員表彰	感謝狀
第一分團	第六分團長
栗木生男	民間協力者
赤星典太	古庄信男

第一回	志賀敏男	鳥子川
第二回	西口広巳	野田常一
第三回	大田常博	
第四回	月尾博美	
第五回	岩下孝利	
第六回	中野桂一	
第七回	渡辺松男	
第八回	石原謙	
田代敬吾		
村山勉		
第六章		
第七章		
第八章		
第九章		
第十章		
第十一章		
第十二章		
第十三章		
第十四章		
第十五章		
第十六章		
第十七章		
第十八章		
第十九章		
第二十章		
第二十一章		
第二十二章		
第二十三章		
第二十四章		
第二十五章		
第二十六章		
第二十七章		
第二十八章		
第二十九章		
第三十章		
第三十一章		
第三十二章		
第三十三章		
第三十四章		
第三十五章		
第三十六章		
第三十七章		
第三十八章		
第三十九章		
第四十章		
第四十一章		
第四十二章		
第四十三章		
第四十四章		
第四十五章		
第四十六章		
第四十七章		
第四十八章		
第四十九章		
第五十章		
第五十一章		
第五十二章		
第五十三章		
第五十四章		
第五十五章		
第五十六章		
第五十七章		
第五十八章		
第五十九章		
第六十章		
第六十一章		
第六十二章		
第六十三章		
第六十四章		
第六十五章		
第六十六章		
第六十七章		
第六十八章		
第六十九章		
第七十章		
第七十一章		
第七十二章		
第七十三章		
第七十四章		
第七十五章		
第七十六章		
第七十七章		
第七十八章		
第七十九章		
第八十章		
第八十一章		
第八十二章		
第八十三章		
第八十四章		
第八十五章		
第八十六章		
第八十七章		
第八十八章		
第八十九章		
第九十章		
第九十一章		
第九十二章		
第九十三章		
第九十四章		
第九十五章		
第九十六章		
第九十七章		
第九十八章		
第九十九章		
第一百章		
第一百零一章		
第一百零二章		
第一百零三章		
第一百零四章		
第一百零五章		
第一百零六章		
第一百零七章		
第一百零八章		
第一百零九章		
第一百一十章		
第一百一十一章		
第一百一十二章		
第一百一十三章		
第一百一十四章		
第一百一十五章		
第一百一十六章		
第一百一十七章		
第一百一十八章		
第一百一十九章		
第一百二十章		
第一百二十一章		
第一百二十二章		
第一百二十三章		
第一百二十四章		
第一百二十五章		
第一百二十六章		
第一百二十七章		
第一百二十八章		
第一百二十九章		
第一百三十章		
第一百三十一章		
第一百三十二章		
第一百三十三章		
第一百三十四章		
第一百三十五章		
第一百三十六章		
第一百三十七章		
第一百三十八章		
第一百三十九章		
第一百四十章		
第一百四十一章		
第一百四十二章		
第一百四十三章		
第一百四十四章		
第一百四十五章		
第一百四十六章		
第一百四十七章		
第一百四十八章		
第一百四十九章		
第一百五十章		
第一百五十一章		
第一百五十二章		
第一百五十三章		
第一百五十四章		
第一百五十五章		
第一百五十六章		
第一百五十七章		
第一百五十八章		
第一百五十九章		
第一百六十章		
第一百六十一章		
第一百六十二章		
第一百六十三章		
第一百六十四章		
第一百六十五章		
第一百六十六章		
第一百六十七章		
第一百六十八章		
第一百六十九章		
第一百七十章		
第一百七十一章		
第一百七十二章		
第一百七十三章		
第一百七十四章		
第一百七十五章		
第一百七十六章		
第一百七十七章		
第一百七十八章		
第一百七十九章		
第一百八十章		
第一百八十一章		
第一百八十二章		
第一百八十三章		
第一百八十四章		
第一百八十五章		
第一百八十六章		
第一百八十七章		
第一百八十八章		
第一百八十九章		
第一百九十章		
第一百九十一章		
第一百九十二章		
第一百九十三章		
第一百九十四章		
第一百九十五章		
第一百九十六章		
第一百九十七章		
第一百九十八章		
第一百九十九章		
第二回	自治功勞草	
第三回	表彰	
第四回	大津町長	
第五回	鳥子川	
第六回	野田常一	
第七回	西口広巳	
第八回	大田常博	
第九回	月尾博美	
第十回	岩下孝利	
第十五回	中野桂一	
第十六回	渡辺松男	
第十七回	石原謙	
第十八回	田代敬吾	
第十九回	村山勉	
第二十回	第六章	
第二十五回	第七章	
第二十六回	第八章	
第二十七回	第九章	
第二十八回	第十章	
第二十九回	第十一章	
第三十回	第十二章	
第三十五回	第十三章	
第三十六回	第十四章	
第三十七回	第十五章	
第三十八回	第十六章	
第三十九回	第十七章	
第四十回	第十八章	
第四十五回	第十九章	
第四十六回	第二十章	
第四十七回	第二十一章	
第四十八回	第二十二章	
第四十九回	第二十三章	
第五十回	第二十四章	
第五十五回	第二十五章	
第五十六回	第二十六章	
第五十七回	第二十七章	
第五十八回	第二十八章	
第五十九回	第二十九章	
第六十回	第三十章	
第六十五回	第三十一章	
第六十六回	第三十二章	
第六十七回	第三十三章	
第六十八回	第三十四章	
第六十九回	第三十五章	
第七十回	第三十六章	
第七十五回	第三十七章	
第七十六回	第三十八章	
第七十七回	第三十九章	
第七十八回	第四十章	
第七十九回	第四十一章	
第八十回	第四十二章	
第八十五回	第四十三章	
第八十六回	第四十四章	
第八十七回	第四十五章	
第八十八回	第四十六章	
第八十九回	第四十七章	
第九十回	第四十八章	
第九十五回	第四十九章	
第九十六回	第五十章	
第九十七回	第五十一章	
第九十八回	第五十二章	
第九十九回	第五十三章	
第一百回	第五十四章	
第一百零一回	第五十五章	
第一百零二回	第五十六章	
第一百零三回	第五十七章	
第一百零四回	第五十八章	
第一百零五回	第五十九章	
第一百零六回	第六十章	
第一百零七回	第六十一章	
第一百零八回	第六十二章	
第一百零九回	第六十三章	
第一百十回	第六十四章	
第一百零一回	第六十五章	
第一百零二回	第六十六章	
第一百零三回	第六十七章	
第一百零四回	第六十八章	
第一百零五回	第六十九章	
第一百零六回	第七十章	
第一百零七回	第七十一章	
第一百零八回	第七十二章	
第一百零九回	第七十三章	
第一百十回	第七十四章	
第一百零一回	第七十五章	
第一百零二回	第七十六章	
第一百零三回	第七十七章	
第一百零四回	第七十八章	
第一百零五回	第七十九章	
第一百零六回	第八十章	
第一百零七回	第八十一章	
第一百零八回	第八十二章	
第一百零九回	第八十三章	
第一百十回	第八十四章	
第一百零一回	第八十五章	
第一百零二回	第八十六章	
第一百零三回	第八十七章	
第一百零四回	第八十八章	
第一百零五回	第八十九章	
第一百零六回	第九十章	
第一百零七回	第九十一章	
第一百零八回	第九十二章	
第一百零九回	第九十三章	
第一百十回	第九十四章	
第一百零一回	第九十五章	
第一百零二回	第九十六章	
第一百零三回	第九十七章	
第一百零四回	第九十八章	
第一百零五回	第九十九章	
第一百零六回	第一百回	

電話の加入申込は

政府の発表によりますと、来年度中に全国で二八一万个の電話の新設計画があるようす。

情報化社会において電話はテレビ、自動車以上に必需品と云えましょう。しかし、わが大津町の電話普及率は九州でも下位の方であります。

申し込んでもつかない電話ということで、申し込みを控えておられる方も多く思います。しかし、電話はその需要数に従って割当もされるので、申し込み数に比例して電話のつく数も多くなってくるわけです。

それで、できるだけ多く申し込みをしていただきたいと思います。殊に平川、矢護川地域を普通加入区域に編入してもらうには、現在申込数をもつと、もっと増さなければならぬようですが、もう少し増さなければならぬ電話加入申込書は役場総務課又は大津電報電話局にあります。手数料は不要です。

室簡易郵便局の移転

二月十五日から業務開始

局舎改築のため桜町に仮事務所を開設していましたが、室三丁目の元局舎跡に改築完成、二月十五日から業務を開始いたしました。駐車も出来ますので、お気軽御利用下さい。

取扱業務

一、郵便 二、為替 三、貯金
四、福祉年金 五、郵便振替
六、保険 七、公金受入
八、国民年金

国民健康保険税 集合徴収

9時～3時

2月26日	午前	内外諸島岩瀬大吹	牧牧野川坂田林田
	午後	森	内島町町尾上川下木
25日	午前	陣中上下高平平木	大津町中央公民館
	午後	午後午後	木水林中所又中
24日	午前	真杉小上御片下	
	午後	午前	
23日	午前	午後	
	午後	午前	

老人憩の家		福社相談	毎週火曜日 十時～三時
定例休館	毎週月曜日	社会福祉協議会(老人憩の家内)	
休湯日	十三日(日)	あなたの大いにやめくよくよしないで相談	
日(日)	より四月上旬まで	所へ行きましょう。	
		秘密厳守、料金無料	

昭和四十六年分所得税の確定申込は三月一五日までです。
菊池税務署では次の日程により納税相談を行います。

二月二十八日(月)九時から

二十九日(火)～

今月の日曜在宅医

9時～5時

2月13日 馬場(豪)医院(2803) 大塚医院(2149)
西村医院(2010) 竹田津医院(2521)
2月20日 鈴木医院(菊陽2051) 福田病院(2771)
中村医院(2016) 鶴口医院(2415)
2月27日 樽美医院(2100) 本田医院(2155)
柴田医院(2050) 兼島医院(2340)

おくやみ申します

吉坂大清水西面日石郷児石村中良田谷水野口部高原原島原山山ツムサコム春タメ慶八カ静大テ鶴メメ喜ニカ治實郎ニ雄和イ松ヲ保

児童用サービスセンターの斡旋で幼児服カギ編の内職をまとめている趣味と実益を兼ねた内職で希望者がまとまり次第一回講習会を行お。希望者は近くの婦人会役員まで。

おめでとう

芹角木鶴熊浜中阪吉松坂田谷藤坂松三川田村田見由田永本木村口坂田下池和伊賢奈清智良知都友裕歌嘉つ由利千宣生活古二広好秀美房司子浩み美義弘晶則知重幸義克博保光孝寛邦弘正忠鉄宣秋義宣告と二輪博吉宣夫鶴秀義海生平大大瀬大大杉外室大大室室矢大大平川津林田津津水牧津津護津津川

白バラコーナー



一、大津町選舉管理委員会で不在者投票をする場合表示の日から選舉期日前日までの期間中、「直接本人が来て宣誓書に不在期間、行先、用件等の事由並びに住所氏名、生年月日、職業を記載押印して提出すれば選管の審査を経て投票することができます。(宣誓書の用紙は選管用意してあります。必ず印鑑を持参して下さい。)

知つておきたい選舉法

選舉の期日と不在者投票

◎各種選舉の期日

選舉を行なう日(投票日)のことを選舉の期日といいます。選舉の期日は選舉運動と密接な関係があるので法律で一定のわくが定めています。

任期満了による町村の議會の議員及び長の選舉はその任期の終る市町村三〇日以内に行なわなければなりません。又その選舉期日の告示は選舉の七日前に行なうことにして定めています。大津町長の任期満了日は昭和四十七年五月六日です。

◎不在者投票とは

投票は選舉日の當日、定められた投票所に於いて投票するのが原則ですが、例外として選舉の「正当な事由」によって投票所において投票することができる。選舉のため投票の前でも投票券をもらうように定められた制度が不在者投票です。

どんな人ができるのか

- (1) 選舉人が投票当日、その属する投票区の区域外において職務に従事中である者
 - (2) やむを得ない用務、または事故のためにその属する投票区のある市町村の区域外に旅行中又は滞在中の者
 - (3) 病気、負傷、妊娠、不具のため歩くことが著しく困難である者
 - (4) その他
- これらの事由に該当する者は、選舉の期日までの間に不在者投票をすることができます。

「しあわせは きれいな
選舉の町に咲く」

不在者投票の手続はどうすればよいか

昭和四十六年度から二ヶ年継続事業として計画していた鍋野農道改修事業(島子川、新所間二千メートル)は、去る一月十日本年度合二百六十メートルの工事が着工しました。この農道は道巾五メートルもあり岩坂東部台地の畑作基盤づくりとして重要なもので明年三月には全線完成の予定です。

大津町交通災害共済へ ぜひ加入を

イ、投票用紙及び投票用封筒の請求
投票人は、選舉の期日の前日までに大津町選舉管理委員会委員長に直接又は郵便で請求して下さい。なおこの請求は選舉期日の告示前にないでも、まあもって請求しておこなうことができます。

ロ、投票に必要な書類

前記の宣誓書及び現在地の何市町村選舉管理委員会において投票紙は町選管用紙で申込用紙にて申出下さい。

ハ、投票用紙等の交付

告示前に投票用紙等の請求があるものは選管に本人宛郵送され、選舉期日の告示直後に本人宛郵送されます。

チ、指定病院 老人ホーム等における不在者投票

指定病院指定老人ホーム等に入院又は入所中の者で歩行が著しく困難なことにより、死後も自ら自分で投票所に行き投票することができない患者は病院、老人ホーム等で不在者投票をすることができます。これらのおは病院長、老人ホームの長にその旨出て不在者投票用紙等の請求手続をしてもらわうことがあります。

見舞金(単位千円)			
等級	傷害の程度	入院	通院
1 死亡の場合	500	500	
2 金6ヶ月以上	100	50	
3 金4ヶ月	80	40	
4 金3ヶ月	60	30	
5 金2ヶ月	40	20	
6 金1ヶ月	20	10	
7 タ1ヶ月未満	10	5	
8 タ1ヶ月未満	5	3	

加入時期	会員となった日	会員費	詳しい事
4月1日～6月30日	365円	は総務課	話下さい
7月1日～9月30日	300円	までお電	
10月1日～12月31日	240円	待してい	
1月1日～3月31日	180円	ます。	

改正された「道交法」

No.1

ウ、從来は横断歩行の手前5メートル内に限られていた駐車禁止が横断歩行の先5メートル以内の部分についても駐車禁止になりました

848

—(4)—

歩行者の安全と円滑が確保されました。

(1) 現在、東京、大阪等の大都市でおこなわれている「歩行者天国」が法律で定められました。

(2) 歩道に準ずる路側帯が新設されます。

路側帯は道路標示(ペイント)によって道路の端寄りに引かれた線(車道から歩行者の通行する部分を分離したもの)



をいいます。

ア、二本線の路側帯

歩行者が通行するのに、じゅうぶんな幅のある道路の場合で、従来の歩道と同じ扱いになります。

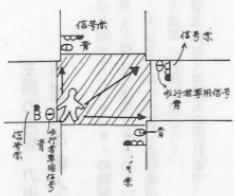
イ、一本線の路側帯

特に道標表示で禁止されている場合をのぞいて、自転車、リヤカーなどは歩行者の通行を妨げたり、歩行者に危険のおよぶおそれのない、場合には、路側帯を通行することができます。

(3) 歩行者との間には、安全な間隔を車ではこの部分の通行はできません

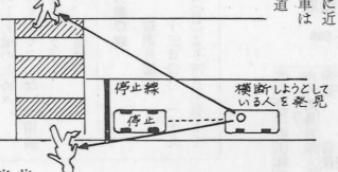
ア、歩行者のすぐ横を通る自動車は歩行者との間に安全な間隔(1メートル)をおくか又は除行しなければなりません。

車と歩行者の間に1メートル以上の間隔がなければ除行しなければなりません。



ア、全赤信号(スクランブル)で歩行者優先

ア、従来歩行者は、道路の右側端によって通行しなければならないとされました。が、右側端を通行することから危険である時、その他のやむをえない時は、左側端によって通行ができるようになりました。



消費者コーナー

良い店の条件

「トの結果から「良い店の条件」をひろってみますと

- (1) 価格、品質、量目の表示の徹底している商店 二九、八%
- (2) 店員の商品知識が豊富で親切な店 二七、四%
- (3) 商品の交換、苦情に応じる店 二三、五%
- (4) 接客態度がよい店 九、五%
- (5) 店内がきれいな店 六、三%
- (6) その他三、五%となりました。

消費者にも反省の必要

こうした消費者的要望に応え、多くの企業者は努力をしていました。しかし消費者は次のよくな質物態度の改善努力が行なわれない限り

- (1) 広告や景品につられる。(まどわざれないこと。)
- (2) 誰がもつているから(みえ買ひはしない)
- (3) 不必要なもの(むだ買ひをしない)
- (4) 見た目にきれいだから(あくら買ひをしない)
- (5) 家計を考えな(もん=文=なし買ひはしない)



善意



オギヤー献金

大津高等學校三年五組德永隆紀様外十

五

名

柱

時

計

個

一

生

先

生

出

業

所

長

様

ゴ

ー

ル

デ

ン

バ

ッ

ト

一

〇

本

室

板垣全信殿

日吉町古閑大次郎見舞金

一五

六〇〇円

室

中陣内吉田國幹様士蔵四十八K

室一大塚米穀店櫻様一〇K

旭ヶ丘住宅、平川、山木、浅井、上村

四名様ミカン二〇K

新村糸永マサ子様、人參九K

本町三西本寅利様餅二十八K

大林岡田よしみ様里いも一〇K

四十五年大津中学校業三年一組一

同代表者源川幸也、上田欣也、紫

藤秀幸様見舞金一七〇〇円、菓

子一K、果物五K、ファンタ五本

室井手上石原義清様亡父静雄様香典返

しとして寄附金五〇、〇〇〇円

本町一浜食料品店様ミカン一二二個

入太箱リソゴ二二個入十一箱

室田村有福子様、ホウレン草七K

大津町婦人会様、餅八十一K

室五小松物産代表者大塚多様乾ソウ椎

タケ一K、生椎タケ五K

松古闘淨正寺大山萬福様ヒロス六十個

大津中学校八年一組前川ひとみ田中静

治、松義信様、栗崎清美、三島京

子、外三十六名様見舞金

一町民(應名者)見舞金五〇〇円

室銀協婦人部一同代表者米村さち子様

タオル四十枚

阿蘇町東黒川米原初喜様せんべ

一二〇袋

岩坂婦人会矢野サカエ中尾サッ子、江

藤キヨミ、様葉子代一四〇〇円

石原マスエ、石原シズエ、上村スエ子

三名様、見舞金三〇〇〇円

社協一般寄附金

一〇、〇〇〇円 灰塚 坂本 慎殿
一、〇〇〇円 上大津 松下鉄海殿
一、〇〇〇円 室三 田村井海殿
一、〇〇〇円 御願所 藤坂 昭殿
一、〇〇〇円 本町 浜 克二殿
一、〇〇〇円 濱田 幸吉殿
一、〇〇〇円 室 鶴田 幸吉殿
一、〇〇〇円 日吉町古閑大次郎見舞金
一、〇〇〇円 板垣全信殿
一、〇〇〇円 一五 六〇〇円

一〇、〇〇〇円 内大津ローテリークラブ
六、二九九円 大津中学校生徒会一同

一、七〇五円 本町一丁目鹿井尚美
ちゃん(五才)明美ち
やん(三才)

二、六〇〇円 役場職員組合より古
雜誌売却代金を

二、〇〇〇円 前田町上武雄殿
拾得金の謝礼金を

一〇、〇〇〇円 烏子川 馬場 集殿
快気祝い

三〇、〇〇〇円 烟井 岩島 馬場 集殿
香典返し

一〇、〇〇〇円 今村 石原 高義殿
亡父 鶴松殿
外に五、〇〇〇円 杉水老人クラブへ

一五、〇〇〇円 森 氏島 武人殿
亡母 テイ殿
五、〇〇〇円 片又 村山 孝男殿
亡父 大和殿
一〇、〇〇〇円 中陣内 野野考行殿
亡父 大和殿
一〇、〇〇〇円 塙町 日高 宅郎殿
亡母祖母サカエ殿
三、〇〇〇円 原水 富田 国繁殿
亡養父新吉殿
一〇、〇〇〇円 水源町水野ミンエ殿
亡夫 慶壽寺
三〇、〇〇〇円 引水 大谷 昇殿
亡母ツタエ殿
五枚、雑布五十五枚。
熊本善意銀行 赤酒五十四本。
杉木ト坂田 泉殿
亡父 春喜殿
一〇、〇〇〇円 上鶴 水上 謙一殿
亡父 己一殿
一〇、〇〇〇円 上鶴
矢護川小学校三年生代表者芹川直、田
上勝哉様見舞金五〇〇円
一一〇個

善意銀行

現金口座

役場青年部主催の低所得家庭児童、
母子児童クリスマスパーティに

善意銀行より七千円を払出し助成し
た。

新敷空港住宅申込よし子様手製のキ
ヤラメル二K

前田町石崎由出男様赤玉ワイン二本、
正中二本。

室横笛店様クリスマスケーキ

光寺尊徳會、バケツ(大)一個タオル

三枚、原水 富田 国繁殿
五枚、雑布五十五枚。

熊本善意銀行 赤酒五十四本。
杉木ト坂田 泉殿
亡父 春喜殿
一〇、〇〇〇円 上鶴 水上 謙一殿
亡父 己一殿
一〇、〇〇〇円 上鶴
矢護川小学校三年生代表者芹川直、田
上勝哉様見舞金五〇〇円
一一〇個

老人ホーム懇問

室銀協婦人部一同代表者米村さち子様
タオル四十枚

阿蘇町東黒川米原初喜様せんべ
一二〇袋

岩坂婦人会矢野サカエ中尾サッ子、江

藤キヨミ、様葉子代一四〇〇円

石原マスエ、石原シズエ、上村スエ子

三名様、見舞金三〇〇〇円

五名柱時計一個

学校給食献立調理コンクール三位入賞

給食センター 竹永美重子さん

キヤンドルを囲んで
成 人 式

三六八名の成人誕生

娘等が審査の対象となります。

格品獻立 出品獻立

パン牛乳 マーガリン 肉団子と白菜のホワイトソース ごまサラダ

委員が組んだプログラムによつてキヤンドルの集い方式ですめられた。

当日は約二五〇名が出席、成人式運営委員が組んだプログラムによつてキヤ

ンドルの集い方式ですめられた。

成人者の力強い誓いの言葉や、先輩、

来賓の温い激励のことば、歌やゲーム

マザーラスなど、灯を囲んで歓声

な中にならやかな成人式であつた。

本年度成人者三六八名の成人式が中央公民館で行はれた。

当日は約二五〇名が出席、成人式運営

委員が組んだプログラムによつてキヤ

ンドルの集い方式ですめられた。

成人者の力強い誓いの言葉や、先輩、

来賓の温い激励のことば、歌やゲーム

マザーラスなど、灯を囲んで歓声

な中にならやかな成人式であつた。



学習の成果あがる
瀬田幼稚園家庭教育学級

毎月第二日曜日は
清掃の日
大津町連合婦人会で申合せ

大津町連合婦人会役員会一月例会で清掃の日を設ける申合せを行つた。

これは県婦連の共同目標(環境整備)の呼びかけに応じて決めたもので、町内

全部落毎に一齊に清掃を実施する

環境をつくるつくるものである。

特に川、道路端に捨てられた「塵芥処理」に力を入れていくことにしている。

くわ部省に実績報告を行うことになつ

ている。

くわ部省に実績報告を行うことになつ

ている。

このコンクールは県の主催で日頃研究している調理の技術を発表し、児童生徒に栄養のあるおいしい給食を食べさせる目的で実施されたもので、調理しやすい、栄養のあるおいしい味、運大津ヶ年スポーツクラブ便り

一月七日を皮切りにそれぞれのクラブで練習が始まった。この日は大津小の女先生方が腕を振わされたぜんざい食べながら新年の喜びを分から合い、今年も体力向上のため、根気よく練習に励んでいくことを誓い合つた。

クラブ指導の先生方がいつも口にされることは、練習を欠かさずねば強くやってほしい」とのこと。四月当初より会員はやゝ減少しているが、これまで続けて来者は体力の向上は勿論学校生活全般に活気があるようだ。クラブを通して心身共に逞しい子どもが育つていいことをクラブ関係者はいつも願っている。

写真 親子で仲良く紙ファッショ

大津ヶ年スポーツクラブ便り

このコンクールは県の主催で日頃研究

究している調理の技術を発表し、児童

生徒に栄養のあるおいしい給食を食べ

させる目的で実施されたもので、調理

しやすい、栄養のあるおいしい味、運

大津ヶ年スポーツクラブ便り

このコンクールは県の主催で日頃研究

究している調理の技術を発表し、児童

生徒に栄養のあるおいしい給食を食べ

させる目的で実施されたもので、調理

しやすい、栄養のあるおいしい味、運

大津ヶ年スポーツクラブ便り

このコンクールは県の主催で日頃研究

究している調理の技術を発表し、児童

生徒に栄養のあるおいしい給食を食べ

させる目的で実施されたもので、調理

しやすい、栄養のあるおいしい味、運

写真 豊岡乳業作



復活した 梅の造花

伝統の地蔵祭りの造り

物 梅の造花は、材料の
中国産の紙の入手ができる

ずこにしばらく姿を消し

ていたが、関係者の努力

で材料紙の見込がたち、

復活することになった

(新採用)

(新任)

常任監査委員 今村 勉 稲穀課徵収

係長

参事 西本順次 農委

中田トク子 保健婦

東ヨシエ

甲斐幸子 草学園

大津幼

税務課徴収係長 中野広 企画課

(異動)

阪田一唐 稲穀課

鶴田英子 税務課

鶴田英子 総務課

寺本豊子

人事異動

四七、一、付